

まちのニュース カメラ・アイ ~ 地域の問題をお届けします ~

認知症を学び地域で支えよう

8月21日(木)、恵み野ホールにて『認知症を学ぶ』講演会が開催されました。地域包括支援センターの担当職員から「認知症は誰にでも起こりうる病気の一つ。正しく理解し、認知症の方や家族を暖かく見守るサポーターの輪を広げましょう」と呼びかけました。最後は約80名の参加者で、「北国の春」にあわせた歌体操を行い、終始なごやかな講演会となりました。



8/21

農想塾公開デー

8月22日(金)、農業活性化センター「農想塾」の公開デーが晴天のもと開催されました。会場には昨年を超す200名の方が来場され、日頃見る機会のない施設内の見学や家庭菜園の土壌診断をしてみらう人、かぼちゃ団子やうどんなど農産物の試食に舌鼓を打つ人達で賑わっていました。

ました。また、恒例のいも掘り体験にも大勢の方が参加され、袋いっぱい芋を詰めた子供たちは素敵な笑顔を見せてくれました。



8/22

古本リサイクルまつり

8月23日から24日の2日間、図書館ロビーで古本リサイクルまつりが



8/23

開催され、お気に入りの本を探す来館者で賑わっていました。この古本リサイクルまつりは、町民の方から頂いた読み終わった不要本や、図書館除籍本の有効利用を目的に毎年行っています。今年は約2千900冊が配置され、たくさんの方が新しい持ち主のもとへわたりました。

全町老人クラブ交流会

8月28日(木)、恵み野ホールにおいて、老人クラブ連合会主催による第16回全町老人クラブ交流会が開催されました。この交流会に参加したのは各単位老人クラブの246名が参加し、5名の方が老人クラブ連合会功労者表彰を受けました。その後、名寄公証役場公証人の小林勝敏氏による「遺言、任意後見契約」と題した講演が行われたほか、恒例の交流会では芸能発表が披露され、詩吟やカラオケ、安木節の踊りなどが披露されるなど、元気がいっぱい楽しい一日を過ごしていました。



8/28

が披露されるなど、元気がいっぱい楽しい一日を過ごしていました。

国際交流がぼちゃ収穫体験

9月5日(金)、国際交流事業で訪れた留学生が南瓜の収穫体験を行いました。和寒町国際交流の会(会長西川賢一氏)では、9月4日から8日までの4泊5日の日程で、中国や台湾の留学生3名を受け入れしており、この日は会長の西川さんのほ場でダークホースといわれる品種の南瓜を収穫していました。留学生は期間中、受け入れ家庭の方々と全日本玉入れ選手権に参加するなど、町民の皆さんとの交流を深めてい



9/5

ワットサム探検隊

9月6日(土)、児童館においてお年寄りとの交流会を行い、自分たちで握ったおにぎりやかぼちゃ団子

を食べながら、昔話に耳を傾けていました。11日(木)には、かたくり荘でのお茶会交流を行い、入居者と一緒にお手前をいただき交流を深めていきました。



9/6

にれの大樹祝金

9月11日(木)、4月1日現在で100歳以上(大樹)6名、99歳(白寿)4名、88歳(米寿)19名、77歳(喜寿)6名、計95名の方に『にれの大樹祝金』を贈呈しました。今後、ますますのご長寿をお祈りいたします。



9/11